

2017年度
ベルマーク寄贈レポート

ベルマークを通じた被災地支援 ～仙台市立四郎丸小学校へお届け～

ファミリーマートでは2008年4月より、おむすびにベルマークをつけて販売しています。

おむすび売場にベルマーク回収BOXを設置。お客様からお寄せいただいたベルマークは、店舗近隣の小学校や被災地の小学校へ寄贈を行っています。



ベルマークを通じた被災地支援



ファミリーマートでは被災地支援として、ファミリーマート店舗と食品製造委託工場、および池袋本社での回収活動で集まったベルマークを災害で甚大な被害を受けた被災地の学校へ寄贈してきました。

この活動は2011年度より実施しており、東日本大震災や熊本地震で被害の大きかった被災地の子どもたちへの教育設備購入支援として毎年継続して行っています。6年目を迎える今回は宮城県仙台市の小学校へ125,699.6点寄贈いたしました。

←集まったベルマークの仕分け

12月14日(木) 宮城県仙台市立四郎丸小学校へお届けしました



■ 学校DATE

学 校 名 : 宮城県仙台市立四郎丸小学校
白井 剛次 校長先生

生 徒 数 : 427人

目指す児童像 : やさしく・かしこく・元気よく

学校の特徴 : 「地域とともに歩む学校」。課外学習として、地元のボランティアの方、郷土史研究家、スポーツで活躍されたなどの話を聞くなど、地域一体となって子どもたちの人間性を育くむ教育に力を入られています。



四郎丸小学校 白井 剛次 校長先生(右)と
ファミリーマート仙台南営業所長 清和 伸之(左)

■ 震災の影響について

- 震災時は学校から1km先まで津波が押し寄せた。
- 現在、震災の経験を伝えていくため、高学年の児童が「避難所となった小学校の様子」や「震災からの復興」について発表し、命を守ること、助け合うために何が必要かを学ぶ機会を設けている。

Voice

四郎丸小学校 白井 剛次 校長先生より

ファミリーマートは学校から一番近いコンビニとして子どもたちを見守ってもらっており、大変心強い。本校でもベルマーク活動は積極的に取り組んでいるので、ベルマーク財団を通じ教育に役立つもの、運動用具など体力向上に役立つものを購入し、子どもたちの成長に役立つよう活用していきます。PTAの皆さんとともに未来に輝ける子どもたちを育ててまいります。

四郎丸吹上店 佳山政美副店長

子どもたちにはよくお店に来ていただいております。いままではお客様として接していましたが、この度は教育へのご支援させていただく機会をいただけて光栄です。子どもたちが笑顔になれるようにこれからも引き続き見守っていききたいと思います。



ファミリーマート仙台南営業所長 清和 伸之

放課後、校庭を走り回る子どもたちの姿が印象的でした。今後も地域に社会に貢献できるように取り組みを続けていきます。

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、
地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。